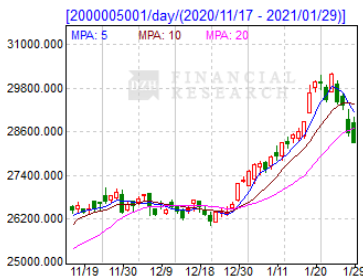


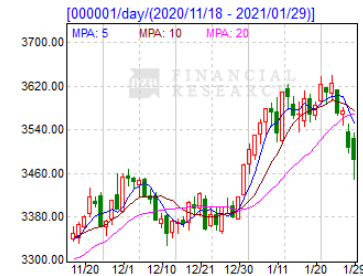


## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	29,982.62	-620.74	-2.03	-3.27	-2.04	30,606.48
NASDAQ	13,070.70	-266.46	-2.00	-3.49	1.42	12,888.28
日経225	27,663.39	-534.03	-1.89	-3.38	0.80	27,444.17
上海総合	3,483.07	-22.11	-0.63	-3.43	0.29	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,351.97	-25.18	-0.47	-3.91	2.70	5,211.29
ハンセン	28,283.71	-267.06	-0.94	-3.95	3.87	27,231.13
中国企業	11,208.78	-125.25	-1.11	-4.01	4.38	10,738.40

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は4.0%安と5週ぶりに反落、上海総合指数は3.4%安

香港市場ではハンセン指数が週間で4.0%安と5週ぶりに反落した。週明け25日は前週末の米ハイテク株高を好感してテンセントなどネット関連銘柄の上昇が相場をけん引。節目の30000ポイント台に乗せ、2年7カ月ぶり高値を更新したが、その後は利益確定売りなどで4日続落と軟調に推移した。本土市場では上海総合指数が週間で3.4%安と反落した。上海総合指数は週初に約5年1カ月ぶり高値をつけたが、その後は軟調に推移し、週末29日に終値で節目の3500ポイントを割り込み、1カ月ぶり安値をつけた。

### 今週の展望:香港市場は神経質な展開か、NY市場の動向見極め

香港市場は神経質な展開が予想される。先週末に2週間ぶり安値をつけた後で押し目買いが入る可能性もあるが、投機的売買でボラティリティが高まっているNY市場の動向をにらみながらの展開となりそうだ。週末に米雇用統計の発表を控え、仮にNY市場の混乱が続くようであればリスク回避姿勢が強まる公算が大きい。2日に発表されるアリババ集団の10-12月期決算にも注目が集まる。本土市場は旧正月の連休を前に中国人民銀行による資金供給が予想されるが、NY市場の動向によっては調整が続く可能性がある。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 バドワイザーAPAC(01876)	26.05	7.87
2 香港鉄道(00066)	45.15	3.56
3 サズ・チャイ(01928)	30.85	0.65
4 恒安国際集団(01044)	55.65	0.45
5 中電控股(00002)	72.70	0.00
6 中国蒙牛乳業(02319)	46.25	-0.11
7 電能実業(00006)	41.30	-0.12
8 銀河娛樂(00027)	58.80	-0.42
9 恒隆地産(00101)	20.70	-0.48
10 チャイナ・モバイル(00941)	47.30	-0.63

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	28.35	-11.41
2 薬明生物技術(02269)	109.10	-10.06
3 中国生物製薬(01177)	7.23	-9.40
4 チャイナ・ユコム(00762)	4.36	-8.60
5 石業集団(01093)	7.92	-7.91
6 華潤置地(01109)	30.90	-7.76
7 碧桂園(02007)	9.37	-7.41
8 ヘトロチャイ(00857)	2.35	-7.11
9 瑞声科技(02018)	42.15	-7.06
10 AIAグループ(01299)	93.75	-6.62

## ▼今週の主なイベント

- 2月1日(月)
- 【米国】ISM製造業景況指数(1月)
- 2月5日(金)
- 【米国】雇用統計(1月)

### ▼今週の期待材料

- ◆アリババ集団やアマゾンなど米中IT企業が決算発表を予定、市場予想上回る強い内容なら買い戻しの展開も
- ◆香港市場で相互取引を通じた本土からの資金流入続く、年初からの香港株買越額が2800億HKドルを突破
- ◆中国で翌週から旧正月の連休開始、連休を前に中国人民銀行が大量の資金供給を実施する可能性も

### ▼今週の懸念材料

- ◆中国国家統計局が発表した1月の製造業PMIは51.3と50を上回るも2カ月連続で低下、市場予想も下回る
- ◆香港の10-12月期実質GDP速報値は6.1%減、通年では3.0%減と2年連続のマイナス成長
- ◆個人投資家による投機的売買でNY市場が混乱、ボラティリティの上昇続けばリスク回避の売りが強まる公算

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華能国際電力(00902): 20年12月本決算は純利益2.6-3.0倍の見通し
- ☆ レノボグループ(00992): 3日に20年10-12月期決算を発表、市場予想は15%増益
- ☆ 広発証券(01776): 20年12月本決算は相場活況受けて33%の増益見通し
- ☆ 紫金鉱業集団(02899): 20年12月本決算は金価格上昇などで51-55%増益の見通し
- ★ 中国東方航空(00670): 20年12月本決算は新型コロナ直撃で赤字転落の見通し
- ★ 中国国際航空(00753): 20年12月本決算は赤字転落の見通し、コロナで需要縮小
- ★ ペトロチャイナ(00857): 20年12月本決算は55-63%の減益見通し
- ★ 平安健康医療科技(01833): 2日に20年12月本決算を発表、市場予想は赤字拡大
- ★ 中国平安保険(02318): 3日に20年12月本決算を発表、市場予想は11%減益
- ★ アリババ集団(09988): 2日に20年10-12月期決算を発表、市場予想は12%減益

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。